

日本のジェンダーギャップ指数は146か国中125位（世界経済フォーラムの2023年版「ジェンダーギャップ報告書」による）と最底辺に位置しています。この弊害は、女性差別という人権問題から、女性が社会で能力を発揮できないことによる経済停滞にまで及んでいます。性差別をなくし、性の多様性を認めていく動きの中で、これまで性差を無視して男性をモデルとした技術開発や社会の仕組み作りが行われてきたことが明らかになってきました。これに対して、近年、あえて性差分析を行うことで、技術革新をすすめるというジェンダード・イノベーションが進められています。このジェンダード・イノベーションとは何か、その可能性はどのようなものか？ 伊藤公雄さんのお話を伺って考えてみましょう。

「ジェンダード・イノベーションの可能性 ～近代産業社会の行き詰まりを前に」

講師：伊藤公雄さん(京都大学&大阪大学名誉教授)

日時：2024年5月18日(土) 19:30～21:00

場所：オンライン開催 (Zoom、URLは下記)

講演要旨：

社会的に構築された性別としてのジェンダー、生物学的性差としてのセックス、さらにインターセクショナルリティ（交差性）の視点から近代の技術社会を見つめ直そうという動きであるジェンダード・イノベーションについてその概略について話します。その上で、近代産業社会における男性主導の仕組みの問題点を歴史的に考察します。生産性優先、効率性重視、さらに、多様な事物を「ひとくくり」にしてコントロールしようとしてきた近代技術の視座に含まれている男性性について分析を加え、多様性に関われば、人間と人間の関係性、人間と自然との関係性の再構築に向けて、縮小社会の観点を踏まえつつ、議論をしてみたいと思います。



伊藤公雄さんの略歴：

京都大学文学部卒。京都大学・大阪大学名誉教授。専門領域は、政治社会学・文化社会学・ジェンダー論。内閣府男女共同参画会議専門調査会委員、同男女共同参画の将来像検討会座長代理、日本ジェンダー学会会長、日本スポーツ社会学会会長、日本社会学会会長、日本学術会議会員（23-24期）など歴任。

ZOOMのURL：<https://us02web.zoom.us/j/86482925044?pwd=U0JvSXFFZEtZeC9sbUNzN0pMZlM4QT09>

ミーティング ID: 864 8292 5044 パスコード: 956346

参加登録：会員は不要。非会員の方は松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで連絡願います。

参加費：会員は無料、非会員の方には参加登録時に500円程度のカンパをお願いします。